

図書館の使い方

I 図書館とは：情報の窓

資料や情報の存在
探す手段の存在
専門家の存在
ネットワーク機能

II 図書館の名称

図書館、メディア・センター、情報センター、インフォメーション・センター
ラーニング・リソースセンター

III 図書館の種類

学校図書館、大学図書館、専門図書館、公共図書館、私立図書館
国立国会図書館 (National Diet Library)

IV 図書館のサービス

館内閲覧、貸出、レファレンス・サービス、レフェラル・サービス、コピー
相互貸借 (インターライブラリー・ローン)、利用教育
アウトリーチ、多文化サービス、障害者サービス、児童サービス

V 図書館資料 (メディアの形体)

図書、雑誌、新聞、地図、マンガ、パンフレット、楽譜、絵画
視聴覚資料 (ビデオテープ、カセットテープ、CD、DVD、CD-ROM)
ネットワーク情報源 (オンラインデータベース) 他

VI 資料の配置場所 (分類)

メディアの形体で

印刷体、コンピュータファイル、視聴覚資料

利用の形体で

新刊書、バックナンバー、指定図書、参考図書 (レファレンス・ブック)

貴重書

場所で

本館、分館、LR センター、CALL、リーディング・ルーム

主題で

日本十進分類法 (NDC) *大阪女学院図書館はこの日本十進分類法を利用している。

国立国会図書館分類法 (NDLC)、国際十進分類法 (UDC)

Library of Congress Classification (LC)

Dewey Decimal Classification (DDC)

VII 日本十進分類法 (NDC)

人間の知識の分野を 1~9 に分類する。

1~9 に属さないものや、全般に関するもの、また幾つかの分野にわたるものを 0 とする。

0 総記 1 哲学、宗教 2 歴史。地理 3 社会科学 4 自然科学
5 技術 6 産業 7 芸術 8 言語 9 文学

階層化 (上位概念→下位概念、 一般的→専門的)

補助機能：形式区分、地理区分、文学区分、言語区分

「日本十進分類表」本表 + 相関索引 (言葉→分類番号)

分類のくわしさは図書館の方針、また同分類内の図書の数による。

OJJC の場合、詳しい分類番号は

833 (英語) 833.1 (和英辞書) 833.2 (英和辞書)

930 (英米文学) 320.2 (英米文学史) 930.28 (英米個人作家研究) 930.29 (米文学)

913 (日本文学、小説) 367 (女性)

VIII 請求記号 (Call Number)

ラベルに記載されている図書の住所。これを手がかりに書棚上の図書を探す。

分類番号+ 図書記号 + 巻数 (年度)

OJJC の図書記号：著者名の頭文字

例 (関根秀和 → Sh) (William Gline → Gw)

別置記号： R, L, など

IX 資料の配列

図書：請求記号順

雑誌：タイトル順など

X 目録：OPAC (Online Public Access Catalog)

オンライン閲覧用目録、オンライン蔵書目録

図書館にある所蔵資料を探すツール

OJJC の OPAC は JOIN と呼ばれている。

XI 図書館のホームページ

OJJC 図書館のホームページ

<http://www.wilmina.ac.jp/library/>